

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています。「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

# 夢・感動通信

町独自の教育課程編成「NAiSUタイム」がはじまります！

No.2



昨年末、町教育委員会は文部科学省から「教育課程特例校」に指定されました。これにより、町独自の新教科「NAiSUタイム」が今年4月から町内8つの小中学校で実施されます。

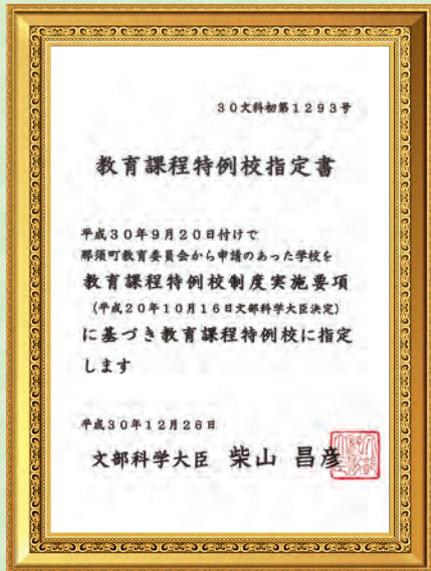
新教科「NAiSUタイム」とは？

那須の中心に「(愛)」を配し、児童生徒が「CARE」プログラム(1月号掲載)を基盤とした大人たちの愛に育まれ、那須の担い手となるようにとの思いを込めました。教科は「人間関係プログラム」、「防災教育」、「プログラミング教育」の3つで構成されており、年間授業時間は25時間となっています。これを9年間の小中一貫教育の柱とし、地域の特色を生かした内容で実施していきます。

町の「学力」観  
各教科の学習内容を理解することも大切ですが、これからの時代を生きていくために、よりよい人との関わりを作り、自らを高めたいことができる子を町では育てていきます。

思考力・判断力・表現力のほか、人と関わる力や豊かな感性、思いやり、人間性などを育成する教育活動をこの3つと積み重ねて実践します。NAiSUタイムを通じて、豊かな関わり合いによって育まれる基本的信頼感と自己肯定感に支えられた確かな学力を目指しています。

「NAiSUタイム」の3つの内容については、この後詳しくお伝えしていきます。また、各学校便りなどでもお知らせしていく予定です。



■問合せ 学校教育課学校教育係  
☎ 72-6922

那須のいろいろなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

ほっと  
と息



「那須の良い所とフランスの良い所を取り入れました」と話すのは、一昨年7月にオープンした「ルクグロフ」のオーナー、石川一郎さん。仕事の関係でフランスには年に数回訪れているそうです。特にフランス北東部、ドイツとの国境近くにあるアルザス地方は、美しい街並みとおいしい郷土料理、かわいらしい小物がたくさんあることから、これらを紹介し、素敵な雰囲気を提供できるお店を作りたいと思い、アルザスをコンセプトにしたカフェ・レストランをオープンしたそうです。主要都市

ストラスブールの観光協会とは友好親善を結んでおり、地元名産の伝統的な陶器(スフレンハイム)なども販売しています。

現在は、店名でもあるルクグロフ(焼き菓子)を「那須ルクグロフ」として高速道路パーキングエリアやデパートの物産展で販売しているそうです。アルザスとコラボした那須発信の新しいスイーツが全国に広まっていきますように！

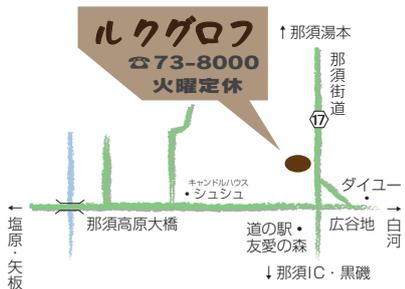
アルザス地方の郷土料理「ベッコフ」。白ワインの風味と豚肉と野菜のうまみが口の中にふんわり広がります。



アルザスの職人さんの手で作られた温かみのある陶器が並んでいます。



フランス国旗と窓辺に咲く花々が目印です。



オーナーの石川さん(中央)、スタッフの三森さん(左)と薄井さん(右)